

学校で会おう！

ミラが咲きました！見に来ませんか？



# OPEN SCHOOL

栗野中学校 学校公開

2018 5.21(月)～6.1(金) 8:30～16:00

本校は、開かれた学校経営による地域とともに歩む学校づくりの推進をしております。  
本年1回目の学校公開期間となります。地域の方々の来校をお待ちしております。どうぞ、  
お気軽にお立ち寄りください。

5.21(月)～6.1(金)

## 四人展

関谷 隆志（絵画）  
富井 綾子（絵画）  
林 佐和子（彫刻）  
飯村 直久（彫刻）

※詳細は裏面に記載

5.27(日) 10:00～13:00

ギャラリートーク  
吹奏楽部演奏  
栗中カフェオープン

かぬま和牛 A5ランク牛スジトロトロ煮込みカレー  
とちおとめゴロゴロいちごみるく  
永野自家焙煎コーヒー

各100食限定販売

ぜひ、ご利用ください！

## 鑑賞授業

9:30～11:20

5.23(水) 関谷 隆志 鑑賞授業(3年生)  
11:30～12:20・13:25～14:15  
林 佐和子 鑑賞授業(1年生)

5.24(木) 10:30～12:20

5.24(木) 富井 綾子 鑑賞授業(2年生)

5.29(火) 10:30～12:20

5.29(火) 飯村 直久 鑑賞授業(2年生)



駐車場 東門より入り、校舎の南側のロータリー

受付 駐車場より校舎来賓玄関を入り受付してください。

問い合わせ先 TEL. 0289-85-8787 (教頭まで)



鹿沼市立栗野中学校

# 四人展



2018 5.21月～6.1金

絵画・彫刻作品を学習センターやランチルーム及び野外に展示いたします。



棘の犬・悪意の卵



関谷 隆志

Takashi Sekiya



1957年 栃木県生まれ  
1987年 東京セントラル美術館絵画大賞展  
1988年 第42回二紀展、'97奨励賞 '01同人推举  
1995年 国民文化祭とちぎ'95佳作賞  
1997年 宇都宮美術の現在展(第1回～第4回)  
2001年 栃木県美術の二十世紀「千年の扇」展  
2006年 上野の森美術館絵画大賞展奨励賞  
2007年 第61回二紀展同人賞  
2009年 上野の森美術館絵画大賞展優秀賞  
2014年 第68回二紀展準会員賞

音楽にしても美術にしても、完成された作品は全て作者の心を「表現したもの」です。「表現する」とは、自分の「心」を音楽や演劇、文学、建築、彫刻、絵画などを通じて「具体的に表に現す」ということです。

喜び、怒り、哀しみ、楽しみといった感情や、思想、信条、宗教など、拠り所としていること、流行、斬新、物珍しさなど、面白いと感じたものを形にすることが「表現する」ということなのです。自分が「感じた」ことを具現化させることが「表現する」ことであって、感じることができずに形を結んでも「表現する」ことにはなりません。

作品の良し悪しは、自分が「感じた」ことをどれだけ具現化できただけで(自分で)決められるものであり、技術の上手い下手など全く関係ないのです。

レオナルド・ダ・ヴィンチは、「しみで汚れた壁とか斑な色の石から、さまざまなかたちをした山、廃墟、岩、森、大平原、丘、谷などを想い浮かべることができるだろう」と述べており、実際に壁のしみ等を丹念にスケッチして、自分の作品に反映させています。

何もないキャンバスに移ろう影から生まれる形。作者がそれから何を感じ、何を表そうとしたのか。「表現されたもの」は何か。完成された作品を通して、作者の心を感じいただければ幸いです。



シグナル



富井 綾子

Ayako Tomii



2008年 「第82回国展」国画賞  
「ひねもすー3週にわたる3作家の3個展ー」Gallery Padparadscha／宇都宮  
2009年 「第83回国展」新人賞、準会員推举  
2010年 「はな野」たまき／宇都宮  
2012年 「始まりの合図」GALLERY IN THE BLUE／宇都宮  
2013年 「森ノナカノ迷ゴ」彩鳳堂画廊／京橋  
2015年 「第91回国展」会員推举  
他、グループ展、壁画参加多数。

テンペラという古い技法をアレンジして描いています。パネルに石膏を何層も塗り重ね乾燥させて削り、絵の具は、卵にオイルや膠や糊などを練り合わせ、そこに顔料(色の粉)を少しづつ加えて調合します。大変手間はかかりますが、堅牢で張りがあり、色鮮やかかつ柔らかな風合いが出せるこの技法は他にはない魅力があります。

描いているものは「感じるのに目に見えない力や動き」。何かが始まる予感、生きる鼓動、輝く眩しさなど目に捉えにくい現象と目に見えるものとミックスして形にし、身近にあって不思議に見える風景を描き続けています。



道標



林 佐和子

Sawako Hayashi

2004年 筑波大学大学院芸術研究科彫塑専攻修了 筑波大学学長表彰  
1997年 第51回二紀展 優賞(06同人賞 10会員推举 15U氏賞)以後毎年出品  
2003年 第2回あさご芸術の森大賞展 準大賞(買い上げ) あさご芸術の森美術館／兵庫県(02)  
2010年 女子美110年、美の指導者たち／上野の森美術館  
2013年 第2回 我らの地平線—いま・新たなる二紀会からの発信／日本橋三越  
個展 アートギャラリー銀座企画／銀座  
2017年 第6回次代を担う彫刻家たち展 現代彫刻美術館／目黒(15)

現在 二紀会会員  
女子美術大学短期大学部特任助教

私は、主に時々の想いを陶土で人のかたちに表し、その状況的な物事を木でかたちにして、それらを組み合わせて、彫刻を作っています。そうすることで日々の中から生まれてくる心象風景や心象時間を見めておこうと思っています。

彫刻  
飯村 直久

Naohisa Iimura



大切なことを運ぶ間に…



1970年 栃木県生まれ  
1994年 第48回二紀展初出品(東京都美術館)  
1995年 第10回国民文化祭とちぎ彫刻の部文部大臣奨励賞  
1996年 宇都宮大学大学院美術教育専修終了  
1997年 第1回那須野が原彫刻シンポジウムin大田原 1997  
(栃木県大田原市)  
第51回二紀展二紀賞  
1999年 武雄市地域国際文化交流事業 in 1999 (佐賀県武雄市)  
2000年 第5回二紀会春季新人選抜賞  
第54回栃木県芸術祭芸術祭賞  
2012年 第66回二紀展 U氏賞

彫刻は大学生になって出会いました。それまでは漠然と美術が好き、もの作りが楽しいと思っていただけなのですが、思い(かたち)をつくることがどれほど難しくどれほど楽しいかを知り、現在に至ります。

最近の作品は、自分への問い合わせであったり社会への問い合わせであったりします。本当に自分は大切なこと(もの)をちゃんと未来へ運べているのだろうか?他の人はどうだろうか?何を考えて生きているのだろうか?大切なことは何?と常に自分と対峙し、そんな思いをかたちにしたいと考えながら制作しています。

